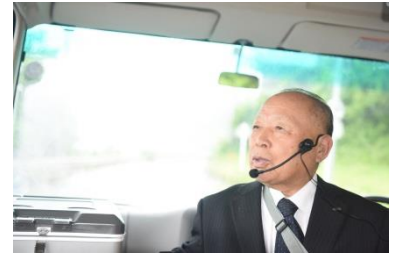


R元. 6. 8 第2回被災地視察研修会 石巻 南三陸

第2回被災地視察研修会 石巻南三陸

6月8日(土)今年度2回目の被災地視察研修が行われました。今回は、雨模様の中、午前は、石巻市立大川小学校の跡地に行って防災について考えました。午後からは、ホテル観洋の伊藤部長さんを語り部をお願いして南三陸町の戸倉小学校・中学校跡地、高野会館を見学しながら防災庁舎、現在の復興の状況などを視察しました。最後は、4~5人のグループに分かれて、被災地視察研修への参加の動機や研修の振り返り等の話し合いを持ちました。熱心な話し合いで、宮教生の防災意識の高さを感じました。



石巻市立大川小学校跡地



当日の大川小学校跡地は、小雨が降っていましたが参加者の皆さんは、当時の様子を思い浮かべ、どうしたら子どもたちの命を救うことができたのかを考えました。震災当時は小雪の降る中、校庭に1時間近く避難していた子どもたちのことを考え、自分が教員になったときにどうすべきかを考えていました。

戸倉小学校の児童と保育所の子どもたちの避難経路と 一夜を過ごした神社



戸倉小学校の児童と保育所の子どもたちと地元の方が避難して多くの方が助かった五十鈴神社までの避難経路を歩きました。戸倉小学校は、在校していた91名が五十鈴神社に避難して一夜をそこで過ごして難をのがれました。学生の、遠くに見える海を見ながら、本当にここまで津波が来たのかという驚きの表情や教師となったときに子どもたちを守るためにと語り部の伊藤さんの言葉を一生懸命に聞き、記録している姿が印象に残りました。その姿からは教師になるという、そして子どもたちを守るという決意が感じられました。

300人の命を救った高野会館



高野会館では、震災当日300人の参加した敬老会が開催されていました。会館は海岸から150mのところであり、会館の従業員の人たちは、津波を予想して皆さんのいのちを守るために屋上に避難させました。津波は屋上ぎりぎりの所まで来たが、全員のいのちが助かりました。参加した学生は伊藤さんのお話を聞きながら、いのちを守る決断について考えました。

研修を終えて

今回の研修は、石巻市と南三陸町を訪れました。津波による被害を受けた地元の方々をお願いして、東日本大震災の地震と津波の被害とその後の話を聞くことができました。震災時のことだけではなく、震災から立ち直るために日々の仕事に一生懸命取り組む人間の強さを学ぶことができた研修でした。